

# 令和5年度研究プロジェクト研究活動報告

研究種別	■自主研究 19	公益目的事業 19
主査名	林 克彦 流通経済大学教授	
研究テーマ	持続可能なラストマイルネットワークの構築可能性に関する研究	
<b>研究の経過（4月～9月）：</b> <p>ネット通販の配送需要が増加する中、従来からの労働力不足に加えて、2024年4月からのトラックドライバーの時間外労働規制、地方のラストマイルネットワーク維持という課題は一層深刻化している。本研究では、現状のネット通販物流の課題に対する政策や企業施策の新たな潮流とその効果の検証を試みる。</p> <p>① 第1回オンライン併用研究会（7月26日） “What happened to Japan?” The New York Times July 25, 2023（根本） 「物流二法制定後の物流業界の展開と物流危機の懸念」（齊藤） 「トラック輸送能力不足とエネルギー転換の時代におけるベトナムと日本のガソリンスタンド有効活用」（ニャン） 「配達ドライバーの職務満足度調査」（須藤・林）</p> <p>② ウェブアンケート調査（8月25日～31日） 宅配便及びネット通販商品を配達するドライバーに対して職務満足度調査を実施し、766件の有効回答を得た。個人事業主と社員・アルバイトで職務満足度に差異があること、個人事業主は長時間労働により出来高払いで報酬を得ており時間外労働規制が影響しやすいこと、報酬だけでなく仕事へのやりがい、職場環境も職務継続意向に影響していることなどが明らかになった。ラストマイルネットワークの持続可能性について、報酬体系の再考、職場環境の整備、個人事業主を含めた労働基準順守等の課題が判明した。</p> <p>③ 第2回オンライン併用研究会（9月27日） 「西武鉄道のBOPISTA事業における鉄道輸送を利用した場合の環境負荷削減効果」（宮武） 「2024年問題 迫る物流危機」（林） 「ラストマイルネットワークにおける運転者の職務満足度調査」（須藤）</p> <b>下期へ向けて（課題等）：</b> <p>文献調査や最新統計の分析、ウェブアンケート調査分析を引き続き実施していく予定である。研究成果の一部は、日本物流学会誌等に投稿を予定している。</p>		